○総務省告示第四百六号

無線機器型式検定規則（昭和三十六年郵政省令第四十号）第二条の規定に基づき、平成十七年総務省告示第九十四号（航空機に施設する無線設備の機器の型式検定合格の条件等を定める件）の一部を次のように改正する。

令和六年十二月十七日

総務大臣 村上誠一郎

次の表により、改正前欄に掲げる規定の下線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の下線を付した部分のように改め、改正後欄に掲げるその標記部分に二重下線を付した規定（以下「対象規定」という。）は、これを加える。

<p>1 検定期則第2条の規定による合格の条件（航空機に施設する無線設備の機器の機械的及び電氣的条件に限る。）</p> <p>【表略】</p> <p>注 この表の試験方法及び条件の欄について、外国において型式検定に合格しているものにあつては、当該検定における試験方法及び条件によることができる。</p> <p>2 検定期則別表第1号の規定による機器の構造及び性能の条件</p> <table border="1" data-bbox="989 168 1141 1086"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>条 件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>航空機用気象レーダーの機器</td> <td>1 5.35GHzから5.47GHzまで又は9.3GHzから9.5GHzまでの周波数の電波を使用するものであること。 【2・3 略】</td> </tr> <tr> <td>【略】</td> <td>【略】</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 検定期則別表第8号の規定による使用する環境の記号</p> <p>【表略】</p> <p>注 この表の使用する環境の欄及び記号の欄について、外国において型式検定に合格しているものにあつては、当該検定における使用する環境及び記号によることができる。</p>	機 種	条 件	航空機用気象レーダーの機器	1 5.35GHzから5.47GHzまで又は9.3GHzから9.5GHzまでの周波数の電波を使用するものであること。 【2・3 略】	【略】	【略】	<p>1 1 検定期則第2条の規定による合格の条件（航空機に施設する無線設備の機器の機械的及び電氣的条件に限る。）</p> <p>【表略】</p> <p>注 この表の試験方法及び条件の欄について、外国において型式検定に合格しているものにあつては、当該検定における試験方法及び条件によることができる。</p> <p>2 検定期則別表第1号の規定による機器の構造及び性能の条件</p> <table border="1" data-bbox="989 1108 1141 2027"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>条 件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>航空機用気象レーダーの機器</td> <td>1 P O N電波5.35GHzから5.47GHzまで、又は9.3GHzから9.5GHzまでの周波数の電波を使用するものであること。 【2・3 同左】</td> </tr> <tr> <td>【略】</td> <td>【同左】</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 検定期則別表第8号の規定による使用する環境の記号</p> <p>【表同左】</p> <p>【新設】</p>	機 種	条 件	航空機用気象レーダーの機器	1 P O N電波5.35GHzから5.47GHzまで、又は9.3GHzから9.5GHzまでの周波数の電波を使用するものであること。 【2・3 同左】	【略】	【同左】
機 種	条 件												
航空機用気象レーダーの機器	1 5.35GHzから5.47GHzまで又は9.3GHzから9.5GHzまでの周波数の電波を使用するものであること。 【2・3 略】												
【略】	【略】												
機 種	条 件												
航空機用気象レーダーの機器	1 P O N電波5.35GHzから5.47GHzまで、又は9.3GHzから9.5GHzまでの周波数の電波を使用するものであること。 【2・3 同左】												
【略】	【同左】												
<p>備考 表中の「」の記載及び対象規定の二重下線を付した標記部分を除く全体に付した下線は注記である。</p>													